第30回定期全国大会 議案のポイント

9月20・21日 東京

戦争を許すな！貧困をなくそう！
憲法9条・25条を守り 平和で人間らしく生きる社会に！
「みんなの一歩」キャンペーン
「福祉は権利」3か年計画を推進しよう！

◆福祉労働の専門性否定を許すな！
抜本的な処遇改善で福祉人材の確保と定着を！
◆職場での法令遵守を徹底させよう！
福祉現場にも働くルールの確立を！

◆核廃絶と原発ゼロを実現させよう！幅広い共同で安心・安全な日本を！
◆国の責任で、被災者の生活再建を保障させよう！
◆組織・財政強化をすすめて強く大きな福祉保育労を！
◆統一地方選挙で強権的な政治に厳しい審判を下そう！

運動の基本方向

軍事と社会保障は両立しない
「平和こそ最大の福祉」を大きく打ち出そう

憲法12条は、「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない」として、憲法を暮らしに活かす努力なしには、基本的人権が保障された平和に人間らしく生きる社会は実現できないことを示しています。職場で憲法学習を強化し、憲法9条・25条の意義を伝えて職場や暮らしに活かそうという呼びかけを広げます。

「大砲（軍事費）とバター（社会保障費）は両立しない」ことは過去の悲惨な歴史で証明されています。集団的自衛権の行使容認など、平和と人権の破壊を強行する安倍内閣の暴走を許さないために、福祉関係者が先頭に立って「平和こそ最大の福祉」を大きく打ち出します。国民の命と暮らしを守る福祉と戦争がけっして両立しないことをアピールし、平和を求める国民的な運動の力で強権的な安倍内閣を倒します。

「みんなの一歩」キャンペーンでは、「福祉は権利」の実現と権利保障のための「福祉人材確保」を統一させてすすめていきます。あらゆる活動をキャンペーンに結びつけ、3か年計画のステップ2として大規模な宣伝行動と地域での共同運動を軸に展開していきます。

運動の柱に、①平和に人間らしく生きる社会を守る、②賃金・労働条件を改善し専門性の発揮できる職場をつくる、③組織を拡大・強化して産別運動をすすめる、の3点を位置づけます。

ポイント1
憲法を暮らしに活かし、9条・25条が実現される社会に

改憲と社会保障の改悪許さない 国・自治体への運動を

集団的自衛権の行使を容認した閣議決定の撤回求め、解釈でも明文でも改憲を許さない国民的な運動へ結集します。統一地方選挙では、強権政治に対する厳しい審判を下して、安倍内閣に解散総選挙を迫ります。

保育新制度による基準の引き下げを許さず、医療・介護総合法による改悪内容を現場に持ち込ませないために、来年4月の実施に向けて、国と自治体に向けた運動を強化します。

国に対して、戦争準備につながる防衛費・軍事費を削減して、社会保障・社会福祉予算を充実させることを求めます。

ポイント2
「福祉は権利」みんなの一歩キャンペーンの推進

「福祉は権利」を語る言葉の力を身につけ 共同の輪を広げよう

憲法25条を具体化する社会福祉の理念と現場実態とを結びつけて、「福祉は権利」ビジョンの学習を徹底します。一人ひとりの組合員が確信を持って「福祉は権利」を語れるように言葉の力を身につけ、職場や地域での身近なところからの対話をすすめます。

すべての組合員が参加して「みんなの一歩」が踏み出せる「福祉は権利」の宣伝活動を各地方で積極的におこないます。

「福祉は権利」共同シンポジウムでつながった団体・労組に、各地方段階でも共同の輪を広げ、共同の輪を大きな共同運動へとつなげていきます。

ポイント3
賃金・労働条件を改善し、専門性の発揮できる職場をつくる

法令遵守を徹底させ 働くルールを 職場で確立しよう

賃金・労働条件の改善には、職場でのたたかいと合わせて広く社会に訴えていくことが必要です。福祉労働者の専門性を認めさせ、処遇改善による福祉人材の確保と定着が必要であることを世論化させていきます。そのために、福祉保育労としての人材確保・定着・養成に関する考え方を打ち出し、全国段階で宣伝行動を展開して社会的にアピールしていきます。

職場での法令遵守の徹底を経営に求め、働くルールを職場に確立します。特に、1日の労働時間は8時間以内であることを労使で再確認することを重視し、「自分のための8時間」を保障させます。

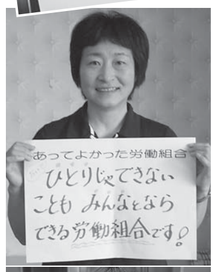
ポイント4
組織を拡大・強化して産別運動をすすめる

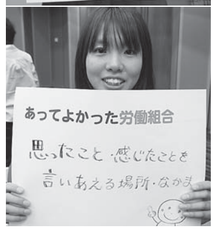
共済新制度の加入促進 仲間をふやして 強く大きな福祉保育労を

「福祉は権利」を世論化し政治課題に押しあげるためには、福祉保育労が産別として強く大きくなることが必要です。組織の拡大は、中央・地方での財政の安定化にもつながる重要な課題です。

組合員の助け合いとしての共済制度の意義が深められ、組織拡大と共済加入促進を一体的にすすめようという意思統一ができてきました。来年7月の共済新制度への切り替えに向け、秋から共済加入促進運動をすすめます。

共済加入者の増加は、財政の安定化にも貢献するものです。新共済を、組織拡大と財政確立にも資する制度に育てていきます。





福祉のなかま 今月の主張

大会の成功を力に 平和と民主主義の破壊を阻止しよう

福祉保育労中央本部は9月20日、21日に第30回定期全国大会と福祉保育労共済会2014年度定期総会を開催します。福祉保育労共済会総会では共済制度の大幅な改正案が提案されます。

今年の大会は、「戦争する国づくり」にむけて、安倍政権の暴走が加速している緊迫した情勢のもとで行われます。国会での多数の議席を背景に、国民の目と耳、口をふさぐ「秘密保護法」の強行採択につづき、自民・公明の与党の密室協議で、憲法9条を骨抜きにする、集団的自衛権行使容認の「解釈改憲」を閣議決定で強行し、一方で、さらに医療と介護を国民から取り上げる「医療・介護総合法」の成立によって、国民の「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」が一層侵害されることが懸念されています。文字どおり、平和のうちに生きる権利、人間らしく生きる権利が根こそぎ奪われ、戦後民主主義を根底から否定しようとしている危険な情勢のもとで今年の定期大会を迎えています。

介護職場をはじめとした深刻な福祉職場の職員不足に対し、政府も福祉人材確保対策検討会を立ち上げ、検討をはじめました。実効ある人材確保対策の早期実施を求める運動の強化を行うことが早急に求められています。平和・民主主義破壊の策動をはね返し、福祉労働者が希望を持って働き続けられる抜本的な対策を実現していくために、各地方組織・職場で大会議案の討議を深め、議案を肉付けし、全ての地方組織、組合員一人ひとりが産別運動の方針を実践していく、意思統一を図ることが重要です。

大会を契機に全組合員の力をひとつに、平和・民主主義の破壊を阻止するために全力をあげましょう。また新たな共済制度を大いに広げていきましょう。

「みんなの一歩キャンペーン」 賛同金にご協力を！ 目標　1000万円

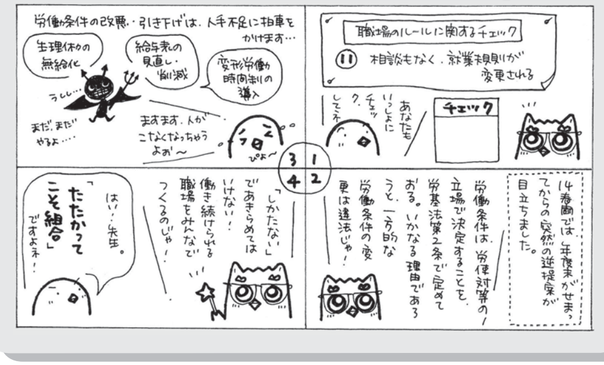
運動の理解を広げ、大きく展開していくための必要経費として協力（団体１口3000円、年間1000口以上目標）をお願いします。

郵便振替口座　00110-1-45713 全国福祉保育労働組合
（「みんなの一歩賛同金」と明記してください）

教えて「福志郎先生」78

案・ナカノ　画・ニムラ

～職場「法令遵守度」チェック～編 「職場のルールをチェック」の巻



福祉保育労 ニュースフラッシュ

ぎおん柏崎まつりに保育園で参加
園児たちは注目の的－新潟地本

マーチングパレードを皮切りに、民謡街頭流し、たる仁和賀、海の大花火大会と続くぎおん柏崎まつり!!そんな熱気と活気で盛り上がるお祭りの民謡街頭流しに、なかよし保育園で毎年参加しています。会社・企業団体、町内・子ども会の参加が多い中、保育園での参加は珍しく、かわいい園児たちの姿は注目の的です。そんな子どもたちの姿を優しく見守りながら、保護者も職員も一体となって踊り、♪は～よ～したよした～よ～したね♪と大きな掛け声で、元気いっぱい楽しく踊ってきました!!

おおいに学んで運動の力に
救護・障害児交流集会

８月３日に障害種別の「救護施設」と「障害児施設」の学習交流集会を東京で行いました。「救護施設」では「生活保護基準引き下げと審査請求、裁判について」を弁護士の吉田さんを講師に、「障害児施設」は「障害児支援の今後と運動の課題」をテーマに全障研の安藤さんを講師に、それぞれおおいに学びました。

救護施設の学習会では、リーマンショック後に生活保護世帯が増加してきている現状から始まり、生活保護への攻撃の歴史が詳しく話されました。背景を学んだあと生活保護基準の引き下げの問題点を学びました。参加者からは「歴史を学ぶことで今の基準引き下げがなぜあるのかがよくわかった」と感想が述べられました。障害児の学習会では、「障害児支援の在り方に関する検討会」の報告書を分析しました。報告書からいろいろと見えてくるものがあり、今後の障害児支援が進むべき方向や課題について確認しました。

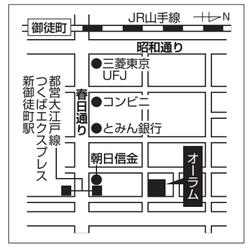
翌日の厚労省交渉でも、前日の学習会で学んだ内容がたいへん役立ちました。

最賃1000円以上の早期実現へ
全国で最賃運動にとりくむ

中央最賃審議会は、７月29日に今年度の地域最賃改定の目安として、「Aランク19円、Bランク15円、Cランク14円、Dランク13円」の引き上げを厚労大臣に答申しました。B・Dランクは昨年＋３円、Cランク＋４円、加重平均で昨年＋１円、改定率で2.09%の改定でしたが、消費税増税等の影響による物価指数の上昇などもあり、実質的にはマイナスの改定となりました。

今年度の最賃引き上げ運動として、福祉保育労では、全国に福祉労働者の実態レポートを呼びかけました。岩手・群馬・東京・静岡・東海・京都・福岡から寄せられ、中央最賃審議会へ意見書とあわせて提出、最賃の大幅引き上げの必要を大きく訴えました。

その他にも、最賃の大幅な引き上げを求める中央・地方の運動に積極的に参加しました。各地域労連の呼びかける街頭宣伝や座り込み行動への参加や地方の最賃審議会への意見書提出などにとりくみました。宮城では地方審議会で意見陳述を行い、福祉人材確保のためにも最賃の大幅引き上げが必要であることを訴えました。

大会日程
9月20日（土）11：00～
21日（日）16：00（予定）

会場
東京・御徒町　オーラム　地下２階
〒110-0015　東京都台東区東上野１－26－２
☎03－3832－0457